

Aさんのつながりを 広める取り組み

～「誰もいや！」→「この人だけ」から
「あの人とも」への道のり～

2014.07.25 大阪府立和泉支援学校 福井喜章

お伝えしたいこと

- Aさんのこと
- 活動のねらい
- 活動内容
- 今後への見通し

A さんのこと

Aさんについて

- 中学部 2年生女子
- 自閉症も伴う軽度の知的障がい
- 名前の呼ばれ方にこだわりがある
- **場面緘黙**

場面緘黙

- 小学校低学年時代はおしゃべりをしていた
- 学年が進む中で場面緘黙の状態が重くなっていた
- 小学校高学年の時には、学校では誰とも話さない状態になり、不登校ぎみに
- 中学から支援学校へ

「誰もいや!!」の時代

- 中学部入学当初「学校行きたくない」
- 声がけにもなかなか反応しない。休みがち
- 唯一好んで行ったのが「絵を描く」という活動
- 1人で黙々と絵を描いているAさんに、声をかけ続けた。

美術の時間
で描いた自
分の顔

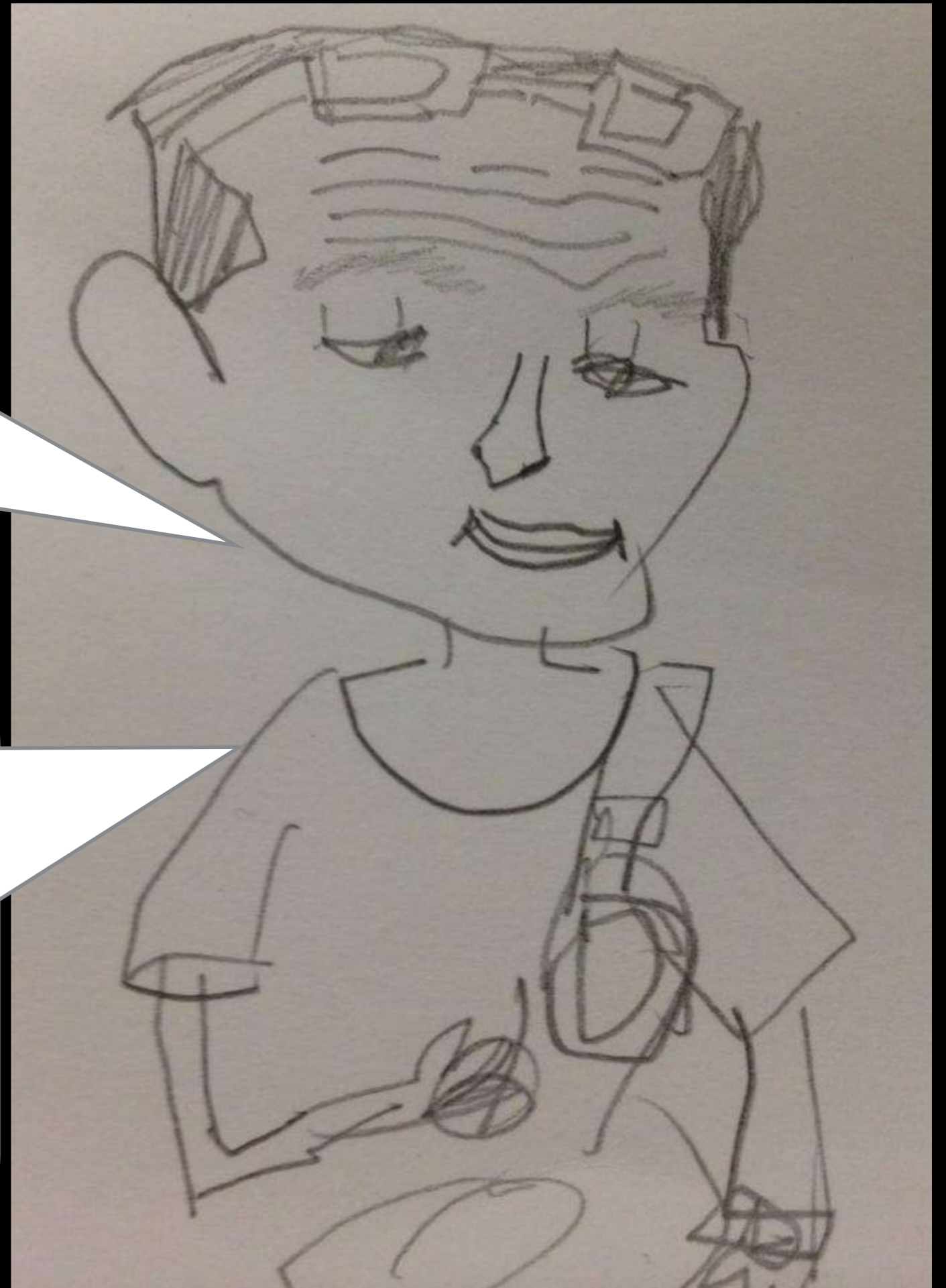


うまいなあ!
すごい勢いや!
細かいところま
で丁寧やなあ

- 反応が返らなくても、声をかけ続け、Aさんの描く絵をほめた。
- 少しずつ、福井の声がけにだけ反応を返すようになっていった。
- 一緒にお絵描きをしたり、福井のギャグに声を殺して笑ったり。
- 誰もいない所で小さな声で話すことも。

この時期、A
さんが描い
てくれた福
井の似顔絵

「似てる!!」と大喜び
する姿を見て、満足
そうにににこにこして
いた
その後、何枚も描い
てくれた



福井は少しずつ関係ができてきた

- しかし、「この人とだけ」という線引きを強く感じる場面も多かった。
- 他の先生達からの声がけには、依然として下を向いて無反応なことが多かった。

母親からのメール

- 新学期の担任発表があった日のメール
- 今年も福井が関わることを親子で喜んでくれた

が、「明日、学校へ行くのん、楽しみ...」と言っていたので、びっくりしています。！！
昨日の学校へ行くのを嫌がり、しくしく泣いていた事が、嘘みたいです。😊

楽しく、学校へ行って、くれると、私も嬉しいです。😊

「この人となら」 という思い

- 自分の発信(お絵描き)を受け止め続けてくれた。
- 自分の発信で伝わるものがあった
- 反応を返せなくてもずっと声をかけ続けてくれた。



- もっと関わりたい、伝えたい
- 自分を大事にしてくれる、大切な人



Aさんのこの思いを広げていきたい

ねらい

ねらい

- 発信を受け止めてもらえる機会を重ねることで、「伝える」ことへの意欲を支えていく。
- 発信の方法を増やすことで、「伝える」場を多様にしていく。
- 信頼できる対象を増やすことで、Aさんの世界を広げていく。

活動內容

活動内容

- メッセージ機能を使ったやりとり
→信頼している人と一対一での関係を支えていく
- 絵カードを活用した活動
→カードの選択で負荷の少ない発信を支えていく
- カメラ機能を使った宿泊学習での記録活動
→伝えたいことを共有する手段を増やしていく
- パラパラ漫画アニメーターを使ったやりとり
→遊びの中から生まれた新しいやり取りの形

メッセージを使って



- 自分の気持ちを伝える
- 相手の状況を思いやる
- ちょっとしたことでも「伝えたい」という思いへ



最初は文字数が少なかった

ふくみん学校来てや



Re:

しゅじゅつ怖かった



4月に送信された
メール

やりとりを継続する中で、福井を
思いやる気持ちを、具体的に長文
で表すようになってきた



Re:

姫路市の太陽公園
に、行って来たよ
~ (^▽^) ふくみ
んのおみあげ買っ
たよ。

Re:

ふくみん、今日病院
行って来たんだいじ
ょうぶ😓ふくみん
いなくってさびしい
かったよ~😞

5月に送信された
メール

絵カードを活用して

●終わりの会で使う

カードを選択して、活動のふりかえりをする。選択したものを小さい声で読むことはできる。



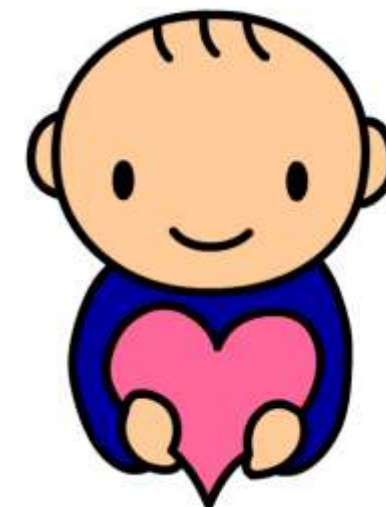
6月

- ・選ぶにくい日が続く
- ・福井が「選びたいカードがないの?」と聞くとうなづく
- ・ドロップの本を見せると、ほしいカードを自分で選択



Aさんが追加を希望したカード

絵カードを活用して



伝えたい思いが増える



- 用意した選択肢のカードでは、表
せない。「ここにはない」
- 複数の選択肢から、選ぶ
ことはできる。



- 絵カードからDropTalkへ(今後)

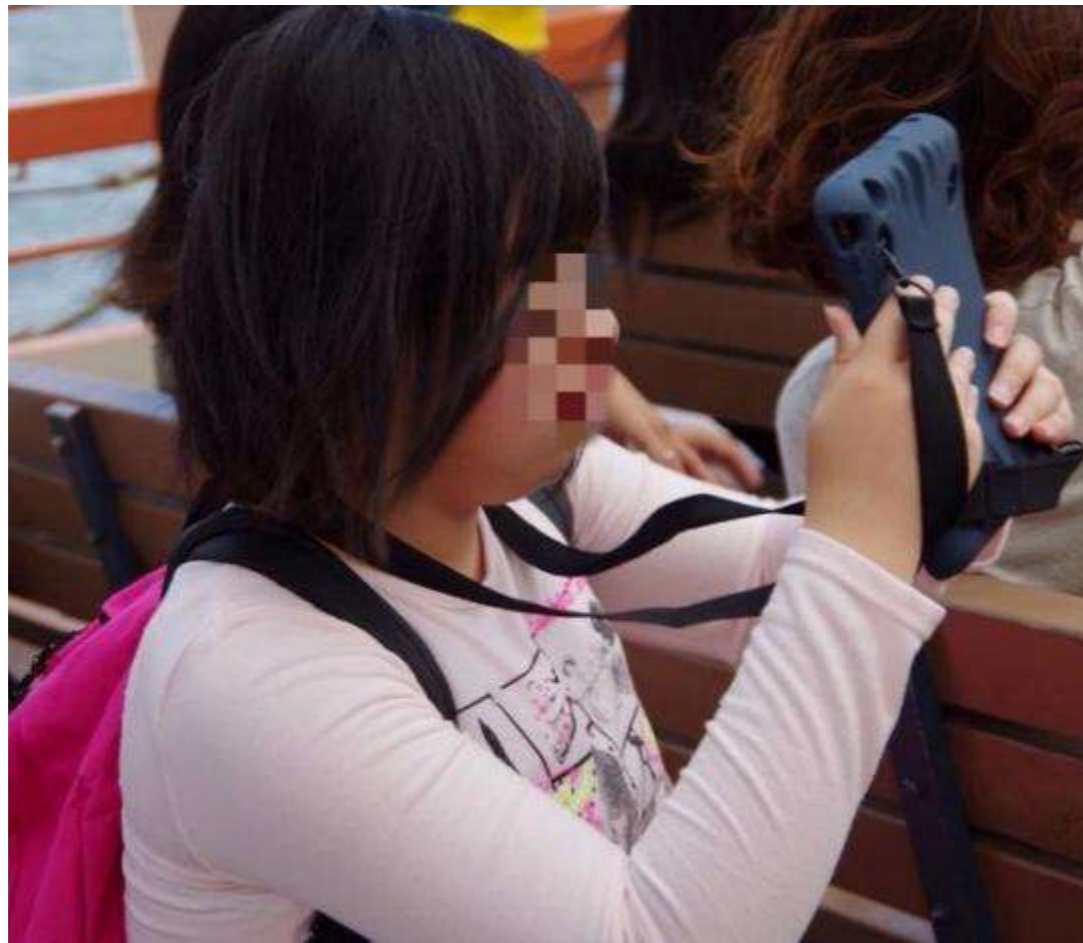
カメラ機能を使って

- カメラ機能を授業の中で体験
- 担任からメッセージに写真が添付されてくる体験

「写真を使うとよくわかる」「伝わりやすい」という見通し

校外学習で

- 生徒自らが「持っていく！」と希望
- 自分で撮った写真を担任らと鑑賞した



パラパラ漫画

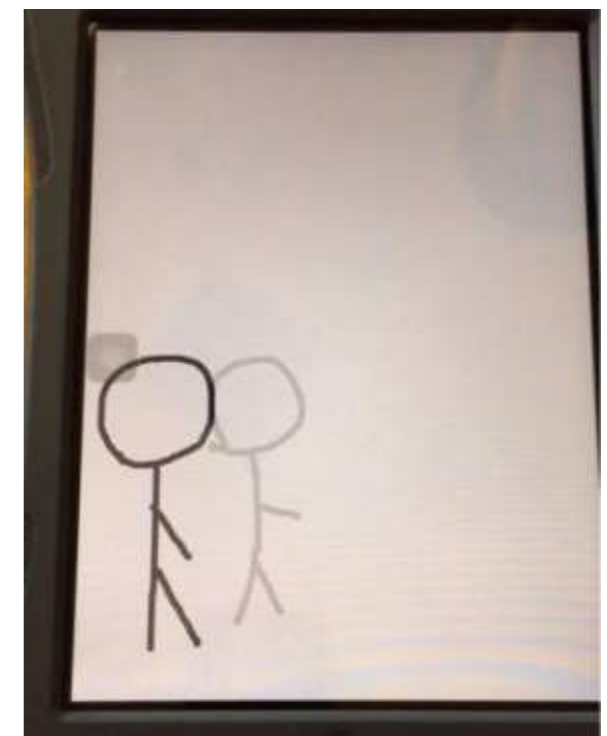


- 2年：絵が動くアニメ（動画）を作ることで、さらに思いを共有していけないかと考えて、パラパラ漫画作りをはじめた。

パラパラ漫画



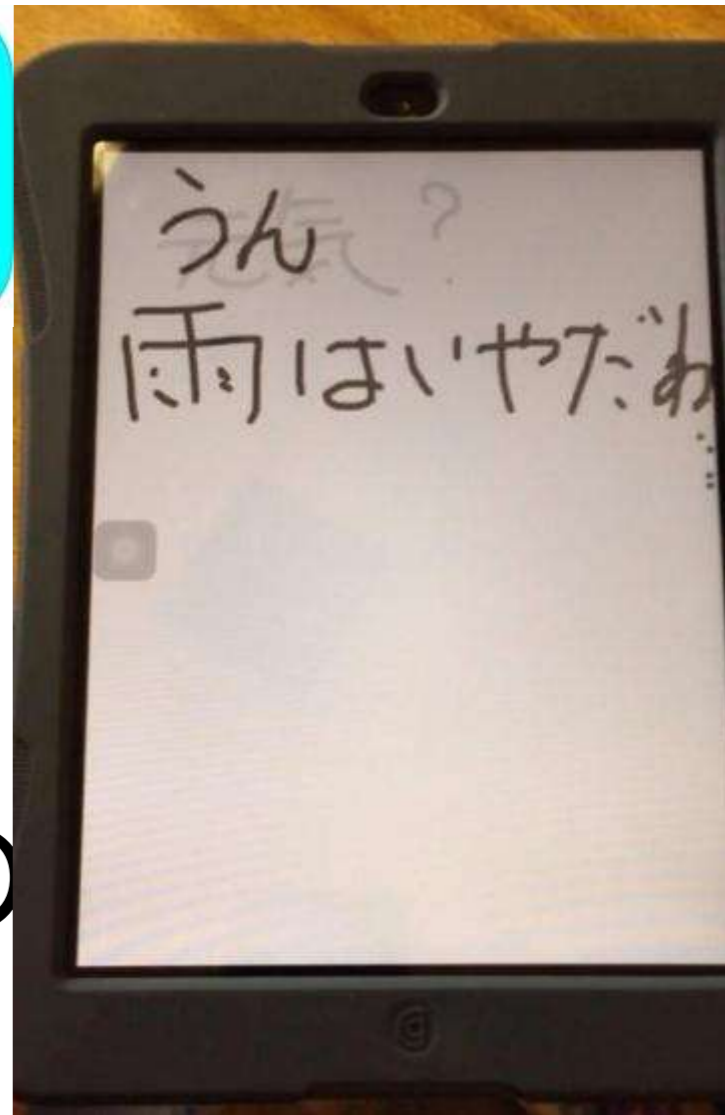
- 2年：絵が動くアニメ（動画）を作ることで、さらに思いを共有していけないかと考えて、パラパラ漫画作りをはじめた
- 福井から「こんなんでできるよ」と提示。
- 興味を持って、描き始める。
- 棒人間が動く様子を見て、「スゴイ」と喜ぶ。





パラパラ漫画制作の練習

パラパラ漫画

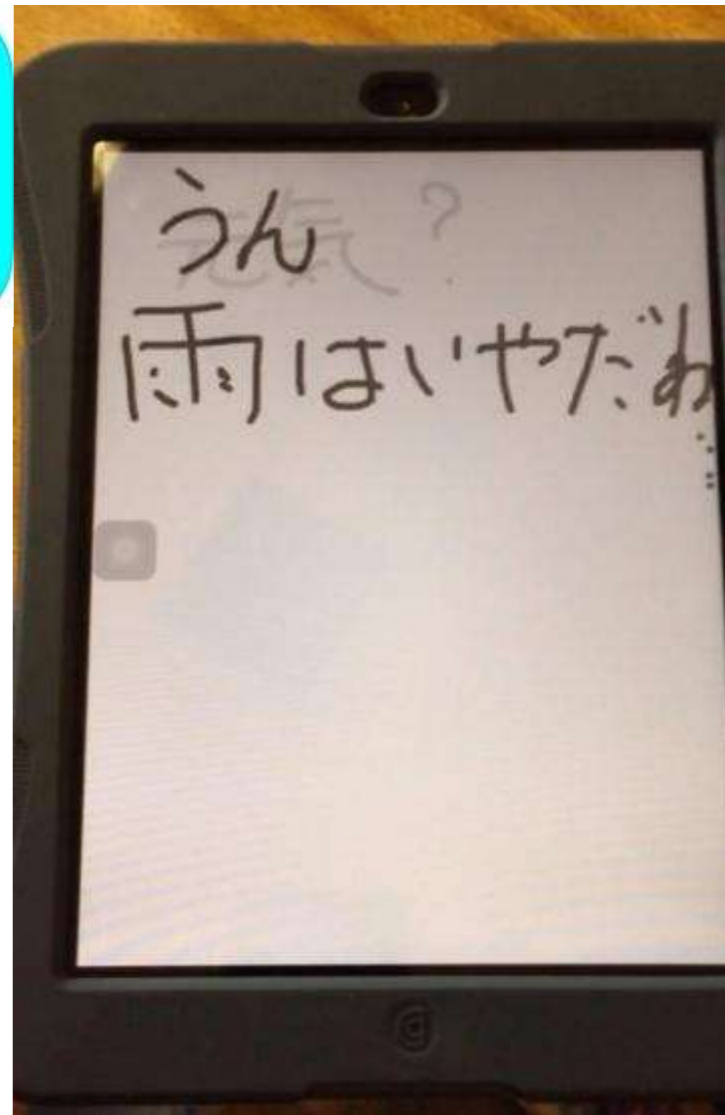


● まり先生とのやりとり

- ・ 最初は、福井とAさんのやっていることをなぞって始めた。

- ・ 見通しのある活動だったので、Aさんも比較的抵抗感を持たず参加することができた。

パラパラ漫画



- まり先生とのやりとり
- ・ 絵だけでなく文字もいれられないかな?
- ・ まり先生からの問いかけに「はい」「うーん」(いいえの意味)と言いながら書き込んでいった

パラパラ漫画



- 紙の筆談では答えなかったことにも答える姿が見られた。
- まり先生とのやりとりを、アニメーションを再生させて何度も見返して笑顔になる姿が見られた。

まり先生との関係に変化が出てきた。



文字でのやりとり

パラパラ漫画



- 活動を通じて、Aさんとまり先生とが急接近！
- 本人の希望で自転車に乗る練習を始めた





パラパラ漫画



- さらに、まり先生の似顔絵を描くまでの関係になる




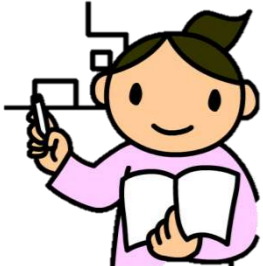
まずは、クラス担任との関係から

- 福井とのかかわりに、まり先生をまきこんでいく。
- 福井との関係づくりのプロセスをまり先生とも共有していく。




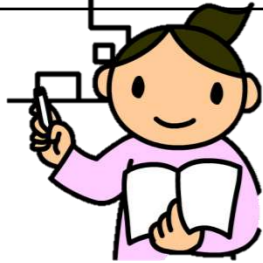
まずは、クラス担任との関係から

5月の段階

	思いを伝えてくる	話す	筆談に応じる	意志をジェスチャーで示す	書かれたものを小声で読む
	○	○	○	○	○
	×	×	×	×	○

まずは、クラス担任との関係から

7月の段階

	思いを伝えてくる	話す	筆談に応じる	意志をジェスチャーで示す	書かれたものを小声で読む
	○	○	○	○	○
	×	×	○	○	○

まり先生と「あの人とも」の関係がスタートした

まずは、クラス担任との関係から

○場面緘黙のAさん

- ・自分から発信したり反応したりができにくいため、相手から帰ってくる反応も少ない。
- ・思いはある。反応できない時も受け止めている。
- ・本当は聞きたいこと、言いたいことがあるのに出せない状態。
- ・思いを共有しようとしてくれる相手に対して、少しずつ興味を持ったり気持ちを許したりしていくのではないか。

ボールが返ってこなくても、投げ続けることから

今後の取り組み

「発信の機会を増やす」にむけて

○絵を描く→「楽しんで描く」ことで終わっていたが、目的を持った活動としても活用

- 衛生を呼びかけるポスター
- 教室のみんなに紹介する絵日記

○製作活動→手先が器用。今までは作っておわりだったが、「誰かのために」「何かのために」という目的を持った活動としても活用

- 小学部の子に使ってもらえるものを作ろう
- ここにこれがあるとみんなうれしいかも

「話す」以外の発信から

- 反応が返る経験を重ねる
- 「自分の発信に意味がある」ことを感じる

「発信の方法を増やす」にむけて

○絵カードからDropTalkHDへ

- ・多様なシンボルから、自分の伝えたいことを探る
- ・選択肢が増えたことで、より自分の思いが「伝わる」ことを実感できることをねらう。

○写真の活用→写真に書き込みをしたり、動画としてまとめたりすることにも取り組むことで、自分の伝えたいことを整理していく体験を積む。

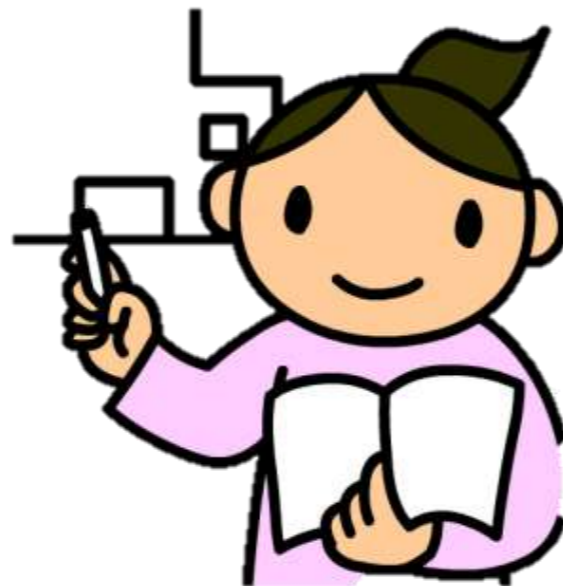
○OSNSの活用→信頼できる人とのやりとりを共有していくことで、「あのひともわかってくれる」という実感を広げていく。

**「伝わる実感」→「もっと伝えたい」へ
うまく伝わらない→「他の方法がある」と思える**

「あの人とも」を膨らませて・・・

信頼できる相手のいるSNS
のグループ

Aさん

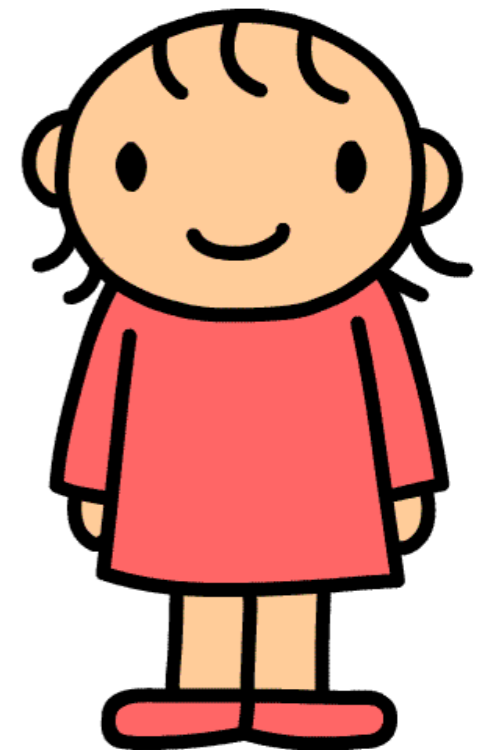


進路先の
先生

中学部の先生

Aさんが安心感を持
てている場所に参加
できる人を増やし
ていくことで関係を
広げていく

- Aさんが長い時間閉じていた
 - ・ 人への信頼
 - ・ 発信できる自分への見通しの窓を開いて、
社会とのかかわりが持てるようになっていってほしいと願っています。



ありがとうございました

jj3vev@me.com

2014.07.25 大阪府立和泉支援学校 福井喜章